

【事業実施の背景】



東ティモールの農村の大半で、薪の採取による森林の劣化は優良な農業生産地域での表土流亡、水源の保水力低下に伴う用水不足や不安定化を引き起こしています。当事業は薪消費量の減少と植林によって森林の保全、拡大に寄与しようとするものです。



WHOによれば、5歳児未満の栄養不良による低体重児の比率が世界で4番目に高いとされています。かつ東ティモールの貧困層の大半は農村人口です。当事業は、かんきつ類、果樹やコーヒーの木などの植林によって農家の生活改善に寄与しつつ、森林の拡大をめざすものです。



東ティモールのエネルギーの90%は薪に依存しています。そしてその薪を集めるのは子供たちの労働になっています。当事業はこの子供たちの労働を軽減することもめざすものです。



東ティモールの台所では、大きな石を三つならべた「三石かまど」が一般に使われています。この方法では、燃焼エネルギーの大半は逃げてしまうので熱効率が大変悪いうえに、煙が充満して家事をする女性たちは目が痛くなります。当事業では、これを熱効率の良いロケットストーブや改良かまどに変える計画です。